



# ようこそ！ もの忘れ外来へ

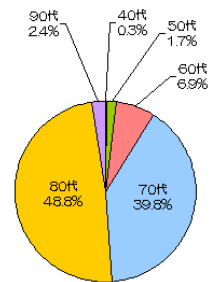
## けいめい記念病院「もの忘れ外来」2016年の受診者動向

毎年1月号では前年の「もの忘れ外来」受診者の動向を紹介しています。2016年に当院のもの忘れ外来を初診され初めて認知機能検査を受けた方は289名でした。2015年は340名でしたので新患の検査は2015年より減っていますが、これは再診の方で検査を受ける方が増加し、新患の方の検査をする枠が減ってしまったことによります。289名の内男性109名、女性180名で、男性37.7%、女性62.3%でした。女性が多いのは例年と変わりませんでした。平均年齢は78.8歳で、昨年より平均で1.2歳減りました。80歳代が最も多く48.8%、70歳代が2番目で39.8%、90歳代が2.4%でした。80歳以上が51.2%と過半数を占めています(図1)。

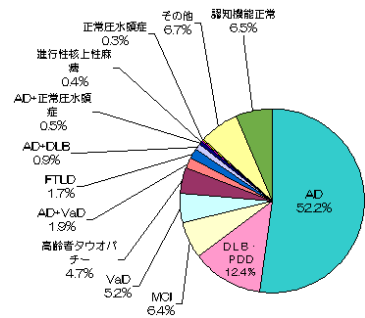
認知症の原因をみると、アルツハイマー型認知症(AD)が最も多く50.9%でした。ADが50%を超えて1番多いのは開設後10年になりますが変わっていません。2番目はレビー小体型認知症(パーキンソン病に伴う認知症を含む)で8.0%(昨年は10.9%)、3番目は脳血管性認知症で7.6%、4番目はMCI(軽度認知機能障害、いわゆる境界域の方)で7.3%(昨年は6.2%でした)、高齢者タウオパチーは3.5%でした。昨年に続いて脳血管性認知症が3番目に多くなりました。脳血管性認知症は男性に多く、その主な原因は脳小血管病です。脳小血管病については2016年3月号で紹介していますが、今後高齢者の認知症において脳小血管病の役割が重要になってくるものと考えますので、今年の早い段階で取り上げる予定です。

2007年2月に「もの忘れ外来」を開設しましたが、この10年間の初診者総数は2957名で、おそらく認知機能検査を施行しなかった方を含めた数は5000名を超えるものと推測します。原因で最も多いのはアルツハイマー型認知症で1544名(全体の52.2%)、次がレビー小体型認知症で12.4%、脳血管性認知症は5.2%、前頭側頭型認知症は1.7%でした(図2)。最も多いアルツハイマー型認知症の初診時の重症度をみると、中等度(FAST5、家庭生活に何らかの障害はあるが身の回りのことは自分で出来ている状態)が40.5%で最も多い状況です。2番目はやや高度の方(FAST6a~6e、着替え、入浴、排泄といった身の回りのことに介助が必要な状態)で25.0%、3番目は軽度(FAST4、社会生活に支障はあるが家庭生活には問題はない状態)の方で23.3%、認知症ではないが、もの忘れがあり将来認知症を発症する可能性が高いMCIの方は11.2%でした(図3)。今後、もっと軽症やMCIの方の受診が多くなると良いと思っています。

【図1】2016年の受診者の年齢分布

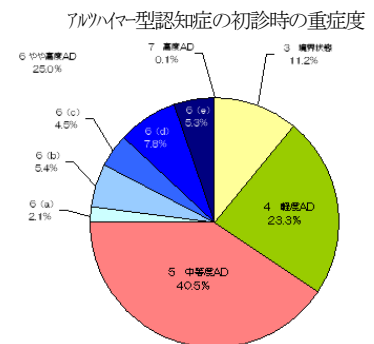


【図2】2007年2月~2016年12月の受診者の認知症の原因



病名	人数	%
AD	1544	52.2
DLB・PDD	366	12.4
MCI	190	6.4
VaD	155	5.2
高齢者タウオパチー	139	4.7
AD+VaD	57	1.9
FTLD	49	1.7
AD+DLB	28	0.9
AD+正常圧水頭症	16	0.5
進行性核上性麻痺	12	0.4
正常圧水頭症	10	0.3
その他	198	6.7
認知機能正常	193	6.5

【図3】2007年2月~2016年12月のアルツハイマー型認知症の初診時の重症度



### ドクター岡原の今月のひとこと！



平成29年1月から「笑顔とこころでつなぐ認知症医療」というホームページ([http://www.rivastach.jp/visit/34/id\\_346.html](http://www.rivastach.jp/visit/34/id_346.html))に当院のもの忘れ外来の紹介がされています。私以外のスタッフである看護師の上野さん、臨床心理士の福谷さん、診療助手の瀬戸口さんが、それぞれの視点から認知症診療の難しさや、外来での対応の注意点、検査時の心遣いについて語ってくれています。3人のこうした細かい配慮もあって皆様に安心して受診していただけることに感謝ですね。もの忘れ外来を受診される方の4人に1人は85歳以上で、認知症以外のさまざまな疾患を抱えながら生活されている方が多く、生活障害は多岐に及びます。時には認知症の治療よりも他科の疾患の治療を優先することもあります。認知症の治療は「治す」医療ではなく、生活を「支える」医療であることを念頭に、その方のQOL(生活の質)を上げることの意味を問いながら、家族や介護者と良い連携を取っていくつもりです。今年も皆様と共に歩む「もの忘れ外来」であるべく努力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。